

「菊池アスパラガスの日」をスタート



記念すべき第1回は、菊池市泗水公民館で1月11日行い、部会員ら20人が参加しました。アスパラガスが並んでいるように見える11日を「菊池アスパラガスの日」とし、令和7年度は奇数月の11日に開催していきます。この日は、生産者の意見交換に重点を置き、部会全体で技術力の向上に努めることを目的としています。生産者間の反収格差及び他産地と比較しての技術力低迷をなくし、反収前年比10%向上を最大限の目標とします。

第1回では、山田浩晶部会長が「菊池と同じような気象環境でも収量を上げている産地があり、生産者間での情報共有を行うことで他産地に負けない生産力を目指していきたい」とあいさつ。その後、前年の反省と今年の目標を一人ずつ発表。参加者からは「他の生産者の取り組みなどを聞き、今後の栽培の参考になっ

た」との声をいただきました。山田部会長による「病害虫でもあきらめないアスパラ秋口再立茎法」の発表もありました。

生産者同士が意見交換を行うことで新たな発見や気づきも出てくるので、最終的に反収向上に繋がってほしいと期待しています。今後は肥料や病害虫に関する内容も取り組んでいきますが、毎回生産者にアンケートをとり次回の内容などを聞きとることで、生産者と一緒になって「菊池アスパラガスの日」をブラッシュアップしていきたいと思います。

新規作付け者向け講習会 栽培2年目からが勝負

新規作付け者向けの栽培講習会を1月20日、大津町の栽培2年目を迎える上田俊博さんの圃場で開きました。対象者は5人。冬から春にかけての管理のポイントを中心に講習を行いました。茎葉の養分を貯蔵根に蓄える時期の施肥・灌水の重要性や、温度管理や立茎、病害対策を指導。病原菌を持ち込まないよう、刈り取った茎葉の残渣や土の表面を焼却するバーナー使用の注意点についての実演も行いました。春芽の収穫に向けてしっかり管理していくことを伝え、栽培管理の進捗状況について意見交換し、交流を深めました。



女性生産者が市場視察



部会女性部は令和6年12月、取引先である熊本大同青果で視察研修を行い、出荷された野菜類の流通について学びました。荷受けされたメキシコ産のアスパラガスも見学し、その大きさに驚きました。宮川素子さんは「私たちが出荷して、消費者のもとへ届けられていくまでの過程を見ることができた。菊池アスパラガスのさらなる品質向上に取り組み、より安全・安心なもの

を出荷していかなければならないと感じた」と話しました。女性部での市場視察は初めて。市場の仕事を目に見えるいい機会となり、産地として何をすべきか考え、質の高い菊池ブランドにつなげていきたいと思っています。